

資料2	令和7年11月21日 第33期青少年問題協議会 第2回専門委員会
-----	--

特定課題を持つ子ども・若者の意見聴取・反映について

1 第1回専門委員会の概要

(議題と審議内容)

議題	審議内容
子ども・若者の意見聴取・反映の考え方	区の考え方を計画を踏まえて再整理
意見聴取の対象となる子ども・若者について	どのような環境にある子ども・若者も声を聴かれることから取り残されないように整理
子ども・若者の意見を聴く仕組みの現状 (子どもレター・としま子ども会議・利用者会議)	声を聴く・反映させる仕組みは充分かの検討

(審議により整理できたこと)

①豊島区が考える子ども・若者の意見聴取・反映の実現にあたっては、以下3つが必要であること

1. 入口としての子ども・若者の声を聴く仕組みを作ること
2. 事業においてどのレベルのものを扱っていて、どのような内容を中心に聴いているのかということを整理すること
3. 出口の仕組みとしてその事業に関わる職員や関係者が、子どもたちから聴いた声を的確にそれに合った反映の仕組みへ載せること

②現状の仕組みでカバーしきれない子ども・若者の存在があること

③声を聴く仕組みが十分であるかの検討においては対象を政策の視点から整理する必要があること

2 特定課題を持つ子ども・若者の意見聴取・反映

特定課題を持つ子ども・若者は、援助レベル（手引きP13）の意見聴取チャネルの施策事業の対象であることが多い。

(援助レベル)

- ・特定課題に特化した伴走・相談事業が多い。
- ・特定課題に対応した支援団体（民間団体等）と連携して取組を進めている場合が多い。

【事例1】（課題特化タイプ）Mother's Tree Japan

【事例2】（複数課題タイプ）特定非営利活動法人サンカクシャ

⇒ 特定課題を持つ子ども・若者の声を聴く仕組みとは？反映の仕組みとは？

わたし いっしょ かつどう
私たちと一緒に活動しませんか

■ 入会する

メンバーになって一緒に活動しましょう♪

■ 寄付する

ママと子どもたちのスタートを
お支援してください♪

■ ボランティアに参加する

お気軽にお問い合わせください

■ グッズで応援する

可愛い役に立つグッズを購入
して活動を応援♪

詳しい内容はこちらから
ご覧ください

HP <https://mothers-tree-japan.org>

みなさまに お会いできるのを
楽しみにしています♪

だんたいがいよう
[団体概要]



めいじょう
<名称>

ほうじん
NPO法人Mother's Tree Japan

せつりつねんがっび
<設立年月日>

2020年6月29日

しょざいち
<所在地>

とうきょう と としま く ちはや ちようめ ばん ごう
東京都豊島区千早4丁目38番5号

ビルホリモト101

れんらくさき
<連絡先>

motherstreejapan@gmail.com

070-8597-2340

HP <https://mothers-tree-japan.org>



とくてい ひ えいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

Mother's Tree Japan

にっぽん す がいこくじんじょせい
日本に住む外国人女性の

さん こそだ
お産と子育てをサポートし

いぶんか りかい そんちょう
異文化への理解と尊重を

たいせつ
大切にした

こそだ
子育てコミュニティづくりを

おうえん ほうじん
応援するNPO法人です



大切にしていること

ちがうをみとめる



ちがうをたのしむ



ちがうをこえる

Mother's Tree Japanでは...

日本に暮らす外国人女性の不安にしっかりと耳を傾け、大切にしているものや文化に敬意を払い、安心して出産を楽しめるようによりそういうことを何より大切にしています。

お母さん自身の自尊心の高い子育ては、その子供たちの健全な自尊心につながります。

日本での多様性を認め合う子育てのベース、みんなが立ちよって安心できる大きな木のようになりたいと願っています。

妊娠中の心身の相談、お産の不安、産後のこと、子育てのこと、届出などお気軽にご相談ください

妊娠、産後、子育ての対面相談、オンライン相談

◆LINE相談

自分の国の言葉で助産師に相談できます。
1人で悩まず気軽に相談してください。

◆オンライン相談会

毎月助産師によるオンライン相談会をしています。

◆オンライン個人相談

ZOOM、LINE、Messengerで通訳付きで相談できます(60分)。

医療機関、公共機関、子育てサークル、保育園の面談などに付き添います

付添いサービス

◆対面付き添い 都内(事前予約1週間前)

*無料です。役に立ったと思ったら、次のママのためにご寄付をお願いします♪

◆オンライン付き添い(事前予約)

スマホやタブレットを通して付き添います。

かつどうないよう 活動内容



日本で安心して「自分らしい」お産を♪

母国語による母親準備クラス・日本語クラス

◆豊島区内での定期開催クラス

日程はHPを見て下さいね。



◆出張クラス

団体や個人からのご依頼があれば、3人以上で開催します。(地方の場合はご相談下さい)

多文化共生子育てイベント

色々な国の子育ての知恵を持ち寄って、子育てをもっと自分らしく楽しむためのイベントや交流会をしています。

情報発信ツール

WEBサイトやFBなどで、日本でのお産に役立つ情報やツールなどを公開しています。



Facebook



若者が安心して生き抜いていける社会をサンカクシャとともにつくる

ご支援の方法

個人の皆さまへ

寄付で応援

おすすめ

定額寄付

月々 1,000 円から継続サポート



現在、マシスリーサポーターは
200 名ほど。
2025 年度に 300 名を目指して
います。

単発寄付

お好きな金額を選んでご寄付



サンカクシャの活動は、皆様のご寄付と助成金に支えられています。

親を頼れず孤立する若者が、安心できる居場所を獲得し、少しずつ社会にサンカクできるように。

あなたのご寄付で、若者に居場所・仕事・住まいのサポートを届けます。

※定額寄付は口座振替の対応も承っています。

※ご寄付についてのご相談は、Web サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

法人の皆さまへ

寄付で応援

多くの企業・団体の皆様よりご寄付（物品などを含む）、ご支援いただいております。

仕事体験やイベントなど、さまざまな形で連携して若者をサポートしています。

ご検討いただける場合は、Web サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

事例は本冊子の p12-13 をご覧ください。

最新情報は
こちら



<https://www.sankakusha.or.jp/>

サンカクシャ



どんな若者のありたい姿も、
あきらめない



ANNUAL REPORT 2024-25



どんな境遇にあった若者でも 安心して生き抜いていける社会へ

Mission

どんな若者のありたい姿も、あきらめない。

Vision

一人ひとりが自分の人生を生きることができる社会の実現

サンカクシャは2024年5月に5周年を迎えました。

社会の若者支援への関心があまりなかった頃からたくさんの人々に支えられ、なんとか活動を続けられました。

今では、少しずつ若者支援の必要性も認識されてきており、支援が広がりはじめています。

2024年度もみなさまのご支援、本当にありがとうございます。

2024年度は、スタッフも30名を超え、居場所、住まい、仕事の支援に加えて、

若者の課題の認知拡大や政策提言にも注力しました。

私たちの見据える先を改めて考え、ミッション・ビジョンをリニューアルしました。

若者自身や周りの人々が諦めても私たちは諦めず、それぞれが自分の人生を歩めるよう、

これからも若者をみんなで応援する環境をつくっていきます。

代表 荒井 佑介

サンカクシャにつながる若者

※2024年度の新規相談データ



サンカクシャにつながる若者は、新規相談の85%が18歳以上で20代前半が最も多く相談内容は様々。虐待、ヤングケラー、ワーキングプアなど、対象を絞りすぎず、複数の困りごとを抱える若者にアプローチしています。

私たちとつながる経路は、自ら相談するケースが半数ほど。行政、他団体、病院、警察、親からの問い合わせもあります。また全国的に男性向けの居住支援が少ないとから、近年は男性相談者が増加しています。

サンカクシャにつながった若者たち

ケース1
Aくん
精神的に不安定な母からの過干渉、暴力を受けて育つ。家にいられず自力で逃げるも、警察に保護され連れ戻される。スマホや身分証など居場所のわかるものを持たず上京し、路上生活となった。

ケース2
Bさん
幼少期から家庭のトラブルを抱え、警察に通報するも保護されなかつた。家にいられず、10代後半から男性宅を転々とする。人間関係が続かず、散財と借金を繰り返して、心身が不調に。

ケース3
Cさん
人づきあいや集団行動が苦手で、学生生活に苦しむ。授業での発言を笑われたのがきっかけとなり、人に不信感を募らせて引きこもりに。YouTube動画でサンカクシャを知って繋がる。

背景にある社会課題



サンカクシャの5つの支援ステップ

サンカクシャがこれまでに築き上げてきた支援体制です。

若者たちの成長は決して一直線ではありません。試行錯誤しながら各ステップを踏み、ときには戻ることも。約3年の時間をかけて、少しづつ自立へと向かっていきます。

ひとりの若者の自立をサポートするために必要な費用は、約350万円。

サンカクシャは、年間250人以上の若者を継続的にサポートしています。



若者の課題が焦点に

命ある若者が活躍できる社会へ



2024年度は企業、行政の皆様と連携することで、若者の課題に大きく焦点をあてられた1年でした。取り組みのひとつとして、経済同友会や新公益連盟と連携し、フィールドビジットとパネルディスカッションを開催。これから若者の課題について議論を交わし、それぞの立場を超えて社会で向き合う機運が、具体的なかたちとなって動き出す契機となりました。

経済同友会 新浪代表幹事と代表 荒井のコメントを振り返ります。

新浪 剛史

経済同友会代表幹事

サントリーホールディングス（株）代表取締役会長、経済財政諮問会議民間議員、三極委員会アジア太平洋委員長、米国 The Business Council メンバー等も務める。



荒井 佑介

NPO法人サンカクシャ代表理事

大学生時代から、ホームレス支援や子どもの貧困問題に関わる。2019年にNPO法人サンカクシャを立ち上げ、居場所、住まい、仕事の3つの輪で若者を支援している。



フィールドビジット

2024年7月、経済同友会の皆様がサンカクシャの現場を訪れる「フィールドビジット」を開催しました。この企画は、NPO団体の現場訪問を通じて、課題の解像度を上げるとともに、行政への提言や企業との連携を促進することを目指した企画です。サンカクシャを見学していただき、代表の荒井や若者と交流しました。



若者コメント

A君：親にずっと暴力を振るわれてきた。

コミュニケーションの方法は蹠ることしか知らなかった。

サンカクシャで過ごすようになって、

感情のコントロールが大事だと思えるようになった。



B君：16年間、親から虐待と過干渉を受けてきた。

学校でもいじめられ居場所がなく、就職するも委縮してうまくいかなかった。家を出るも困窮状態。

上京して貧困ビジネスに繋がった。



荒井さん

現在、サンカクシャにはほぼ毎日、全国から困窮する若者の新規相談があります。対応キャラは常にオーバーしており、数少ない全国の若者支援団体はどこも同じように逼迫しています。一方、こうした需要に対して、若者に向けた公的支援はほとんどない状態です。

また、20年虐待を受けた若者が1年で就職することは難しく、回復して社会と繋がるまでは3年ほどの伴走支援が必要です。



新浪代表幹事

正直全く知りませんでした。私以外も、そういう人がすごく多いんじゃないかなと思います。

これまで我々は「働く人が足りない」「少子化をどうしたらいいか」などの課題に向かってきました。しかし、今お話を聞いて思うのは「生を受けてきた若者がこの社会で活躍してもらわなければいけない」ということ。少子化対策とともに若者支援も進めなければ、意味がないとも言えるでしょう。

ただ、お金だけで解決する話ではないですね。むしろ、この社会課題の解決方法と一緒に考えてくれる社員がいたら、その会社は素晴らしい会社だと思います。そういう会社や仲間を増やしたいですね。

まずは若者の課題の認知を高めることが重要です。認知さえあれば、サンカクシャのような活動は自然と立ち上がってくると思います。

生きていてくれてよかった。

何年かあってもいいから、社会との交わりをもってもらいたいですね。

（ある若者に向け）いい顔してるよ。

ここに来る前とは、きっと随分変わったんだろうね。



経済同友会共催パネルディスカッション 「若者の貧困解決に向けて」



パネルディスカッションでは、こども家庭庁に「親を離れず孤立する若者支援に関する検討」を提出。



2025年1月、経済同友会とサンカクシャ共催で「若者の貧困解決に向けて」と題したパネルディスカッションを開催。代表の荒井より若者の貧困についてご報告し、本テーマに关心を寄せいただきました。こども家庭庁 渡辺由美子長官に登壇いただき、経済界・行政・支援現場といった多様な担い手がそれぞれの視点から議論しました。

荒井さん

若者の課題を深く知り、議論する土台づくりへ

今後は、若者支援を議論する土台が重要だと考えています。現状の支援の枠にはまらない若者にアプローチするには、若者の支援における対象を特定し、支援を届ける体制を整えることが必要です。困窮する若者に対する調査が行われていないこと、支援を届ける体制が国、都道府県と市区町村とバラバラであることから、まず議論する場が必要ではないでしょうか。

明日の支払いに困る若者への仕事づくり

行政とあわせて、企業の力が必要だと考えています。大きな理由が開パイト問題です。若者が誰にも頼れない状態で困窮すると、SNSを通して搾取したい大人に巻きついてしまいます。若者たちは明日の携帯電話の支払いと引き換えに、グレーな仕事をしてしまうのです。

特殊詐欺の被害額は450億円（※）ほど。犯罪抑止の意味でも、今後は開パイトに代わる仕事を作って戦っていくしかない。企業の皆さまと連携して、仕事を作り若者を育てられないかと考えています。

※2023年度のデータ。2024年度は約6割増のおよそ710億円



新浪代表幹事

社会課題を解決する共助資本主義へ

資本主義は社会を豊かにしてきたという意味で、必要不可欠なものであると考えます。しかし、一部の人だけが豊かになることは大きな課題ではないでしょうか。この問題に対して、共に助け合う、共助資本主義が成立し新しい経済社会をつくる必要があるでしょう。

共助の考え方のとおり、企業はより一層社会の役割が求められます。企業のノウハウや資金力を活用し、社会の課題に取り組むこと。若者が生きる喜びを持てるような社会を、企業と共につくっていくことが重要です。

若者を繋ぐサンカクシャ

フィールドビジットで、生きる喜びがない若者がこんなにいるのかと痛感しました。開パイトに加担することもあると聞き、より周知すべきだと感じました。様々な局面で連携を図っていきたいですし、支援の手前にも重要なことがあります。若者のために何をすべきかは、彼ら彼女らの声に耳を傾けるためにも、その通訳をサンカクシャに任してもらおう必要があります。



サンカクシャにつながる若者に聞いた ▶ 困窮した経験

持っていない身分証は？（複数回答可）

マイナンバー 20%

借金をしたことがある

48%

保険証 26%

住む場所、食べるものがなくなったら？

運転免許証 57%

26%

42%

家賃が払えなかつたことがある

サンカクシャにつながる若者に對して行ったアンケート・ヒアリングで、借金があったり、身分証を持っていない若者の実態が明らかになりました。虐待、ネグレクトなどを受けた経験から、周りの大人に頼る、公的支援を受けるなどの選択肢をもたない若者は、困窮した状況を開拓するために当事者なりの解決方法を模索します。ある若者は「目の前のことには必死で走りもあり、罪を犯して捕まるしか選択肢が思い浮かばなかった」と話します。生き抜こうとするうちに搾取する大人のいる場にさらされ、犯則に巻き込まれやすい状況に陥っていくのです。

数字で見る

2024
年度



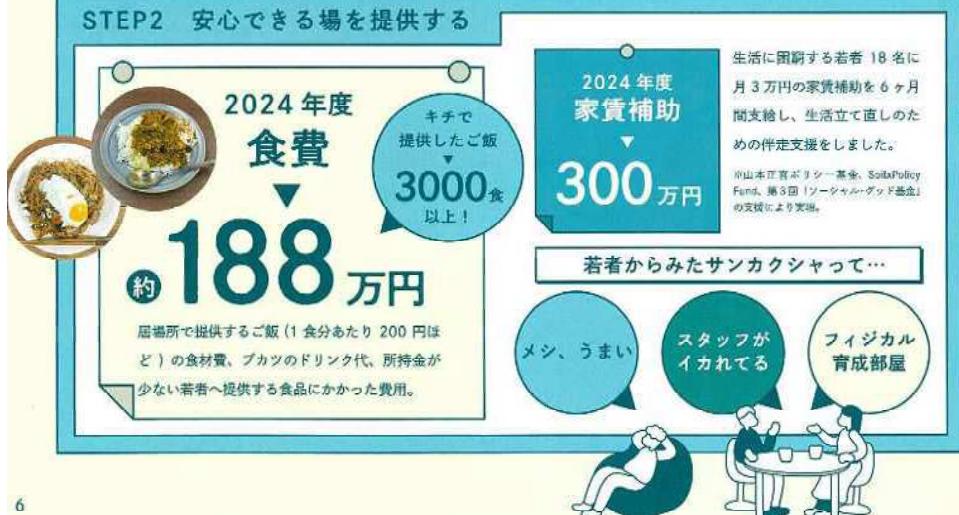
サンカクシャ

2024年度の若者とサンカクシャの活動にまつわる数字を集めました。若者を支えるサンカクシャらしい活動は、ご支援くださる皆様のおかげで実現しています。

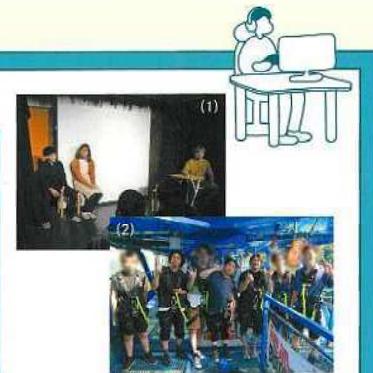
STEP1 若者とつながる



STEP2 安心できる場を提供する

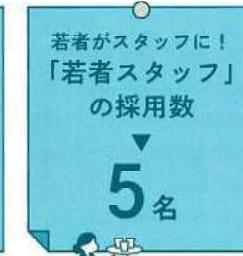


STEP3 時間と体験を提供する

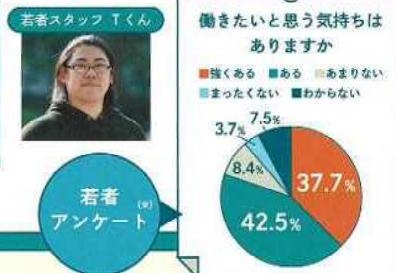


海に行ったりキャンプをしたりする「オデカケ」、筋トレやバスケ、資格取得に励む「ブカツ」など、若者の意欲回復に向けた取り組みに力を入れています。プロのお笑い芸人と舞台に立つチャリティお笑いライブ(1)や、パンジージャンプ(2)など、肝が試される企画は、若者が変わるべききっかけになっています。

STEP4 働く体験を提供する



自身も支える側になりたいと立候補。オーディションでの自己PRが評価され、採用されました！支援された経験から、若者とスタッフのあいだをとりもします。



5周年記念パーティー



2024年5月、団体の設立5周年を記念して、サイボウズ東京オフィスで記念パーティーを開催しました。マンスリーサポーターや企業の皆様にご来場いただき、参加者は約200名！高畠みゆき豊島区長の挨拶や、代表の荒井による10年ビジョンの発表などを通じ、若者支援の重要性を改めて認識する会となりました。



居場所事業

自分らしい居場所が見つけられるように サンカクキチを開き続ける

若者が自由に過ごせて、相談や交流ができる拠点としてサンカクキチを運営しています。昼から夜にかけて利用できるヒルキチ、深夜帯に利用できるヨルキチを実施し、食事を提供。キチが開放されない曜日には、個別面談を行いました。意欲が回復はじめ、きっかけがほしい若者には、一緒に外出して様々な体験をするオデカケも企画しています。

2023年度に引き続き、2024年度も新規相談が増えシェアハウスが満室になるなど、ニーズに対して支援の手が追いつかない状況にありました。そこで少しでも継続した支援ができるよう、居場所を開き続けることに尽力しました。新しい取り組みとして、サンカクシャの拠点以外に近隣のスペースを借りて、複数の居場所の運営にもチャレンジ。若者が自分にあった居場所で過ごしながら、地域の人と関係を築くいい機会にもなりました。

居場所の役割

① 安心して過ごせる居場所

まずは若者が心を休めて、安心が得られるような居場所づくりを第一に。場所としての聚がりだけでなく、スタッフをはじめとする安心できる人、面白みを見出せる活動との繋がりを感じられる場づくりをしています。

② 過ごせる相談窓口

ふとした瞬間に、若者が悩みを打ち明けてくれることがあります。困りごとを抱え出さない若者も、サンカクキチを利用しながら相談窓口を見つける人を見つけて、相談できるように。構えず、雑談の延長で話せる相談窓口の役割も果たしています。

③ 自分の居場所を見つける力を育む

自分らしい居場所は、若者自身で見つける必要があります。サンカクキチは安心感をもちながら社会性を育む場でもあります。サンカクシャ以外の居場所を見つけるまでのステップにもなっています。

DATA

年間開放日数

サンカクキチ 148日
ヨルキチ 24日
フレイムス 34日

年間利用人数

延べ数 3136人
実数 138人

サンカクキチが
「2024 グッドデザイン賞」受賞!

2024年度のトピックス



コーヒースタンド付きレンタルスペース「尾野川フレイムス」で、サンカクキチの分室を開設。街の人も集まる居場所に! (パンに会の様子)

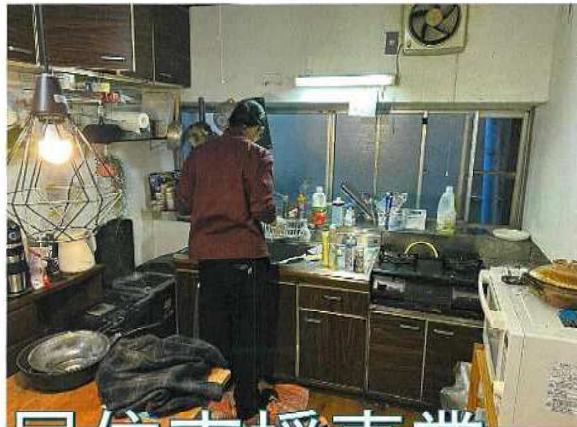


キャンプにマラソンに! 若者と積極的にオデカケに行きました。「楽しかった」が少しでもパワーになりますように。 (キャンプの様子)

サンカクキチが始まって3年が経ち、今までの意義と向き合う時だと感じています。安心とは何か。若者が社会にサンカクするため居場所としてできることは何か。試行錯誤に果てはなさそうです。



居場所事業
統括責任者
早川 智大



DATA

シェアハウス 3棟13部屋

シェルター 7室

新規入居者数

シェアハウス 17人
シェルター数 25人
退去者 24人

2024年度までに住まいを利用した若者の延べ人数

85人

居住支援事業

安心できる住まいで生活を立て直す 「生きる」に踏みとどまれるように

2024年度のトピックス



スタッフがシェアハウスやシェルターを訪ねる回数を増やしました。若者に朝食を作ってもらったり、一緒に挽ごはんを作って食べることも。



2024年度もトラブル対応や荒れた部屋の掃除をたくさんしました。キッチンの洗い物も若者を巻き込みつつ、本人たちがやれるサポートします。

居住支援の役割

① 安全・安心を脅かす危機的状況から距離をとる

心身にダメージを受けている若者がその原因となる根拠から離れ、安全で少しでも落ち着いて休める住まいを提供します。これは、犯罪や貧困ビジネスに巻き込まれるリスクを下げるにも繋がります。

② むらす術を身につける

お金の使い方、ゴミの捨て方、食べたあとのお皿は……? マネープランと一緒に考える、対策や掃除を教える。若者に暮らしのあれこれを見つけてもらうのは、安定した暮らしを目指す居住支援の重要な役割です。

③ 若者のありたい姿と葛藤に寄り添う

人の経験や特性にあわせて、どうしたらサンカクシャが運営する住まいを自分で見つけるか一緒に考えます。時にはパンジージャンプやキャンプなど、サンカクシャらしい取り組みを交え、若者の「やりたい」と「できない」に寄り添います。



居住支援事業
統括責任者
久保 茉緑



社会サンカク事業

意欲が回復しても、すぐには働けない若者へ
社会にサンカクするステップをつくる

居場所や住まいを利用して意欲が回復はじめた若者や、自活に向けて仕事がしたい若者が一歩ずつステップを踏めるように伴走支援をしています。サンカククエストと呼ばれる職業体験や日払いのお仕事を提供することに加え、連携企業と若者の交流の場づくりなど、地域や企業を巻き込んだ活動を実施するのも社会サンカクの役割です。

2023年度はサンカククエストの運営に力を入れていましたが、2024年度はさらなるパワーアップに向けて試行錯誤した1年でした。サンカクオフィスの立ち上げや日払いの仕事づくりの拡充に奔走。2024年10月からは若者との面談を増やし、一人ひとりに寄り添ったサポートにも力を入れています。一緒に面接用の服を購入し、履歴書や面接のアドバイスを行うなど、若者が新しい道を見つけていく姿に立ち会いました。

社会サンカクの役割

① 働きづらい若者が生き抜けるように

意欲が回復した若者も、これまでの経験や体験経験から、コミュニケーションの難しさ、心身が消耗しやすいなどの事情を抱えています。



2024年度のトピックス

今年度も様々な形で企業と連携。株式会社 Okta Japanとの交流会では、社員の皆様に挫折体験をどう乗り越えたかをお話いただきました。

サンカクシャが仕事を請け負い、若者が日払いで働く試みをスタート！生活の助けになるほか、自分の得意な仕事を知る機会にも繋がりました。

若者の就労支援は社会に多くありますが、サンカクシャの若者のほとんどが既存の仕組みに乖離しています。支援に繋がりにくい若者たちに合った形の事業の創出が急務となっています。

社会サンカク事業
統括責任者
菊川 恵



TikTok
Awards Japan
2024
TikTok for Good
サンカク相談室
受賞！



アウトリーチ

もっとハードルを低く、間口を広く
まだ出会えていない若者へ

誰かに頼る、相談する選択肢を持たない若者に、興味を持ってもらえるように。若者に向けてサンカクシャの情報を発信し、支援に繋がる手前の役割を担っています。YouTubeやTikTokではサンカクシャやスタッフの雰囲気がみえるショート動画を投稿し、週1回ほどTikTokのライブ配信を実施。SNSを通して相談前の若者とも繋がっています。

「相談するなんてだいい」と思っている若者にこそ相談してもらえるように、楽しい仕掛けを考えて情報を届けていきます！



アウトリーチ担当
寺中 湧飛

調査



報告書「若者を対象とした宿泊・居住支援を実施する団体の先駆的事例紹介」
宿泊・居住支援に先駆的に取り組んでいる11団体に対してインタビュー調査を実施。(2025年2月公開)
※本報告書は公益社団法人ユニバーサル志願センター様の休職金を活用した「既に頼れない若者の独立立ちサポート事業助成」を受けて作成されました。



報告書「若者居住支援団体の包括連携支援体制の構築」
他団体との連携を強化し、相互に学び合え、取り組みをまとめた。(2025年3月公開)
※本報告書・添付は、令和6年度(2024年度)の社会福祉振興助成事業(WAM助成)により実施されました。

視察受け入れ実績

こども家庭庁、東京都や豊島区などの地方公共団体、学校、NPO法人、企業の皆さまに、届場所事業の拠点である「サンカクキチ」を見学いただきました。

年間受け入れ数：155件、357名

視察先：サンカクキチ（東京都豊島区上池袋）

主な視察組織名：こども家庭庁、東京都、豊島区、経済同友会など

講演実績

地方公共団体、学校、NPO法人の皆さまよりご依頼いただき、若者支援の活動や届場所のあり方についてお話しする機会をいただきました。

・立教大学社会福祉研究所主催「若者の『住まい』の確保が大切だ！」

・「子どもの権利条約フォーラム 2024 in 東京」

・生活クラブ生活協同組合・神奈川主催

「居住支援を考える学び 若者と居住」

ほか多数

企業 行政 地域 の人たちとともに 広がる支援の輪



就労インターン

働く自信をつけて、
アルバイトを始めるきっかけに
株式会社ラコスト ジャパン

アパレル業界や企業理念について学ぶ座学に始まり、実店舗での商品陳列から接客までを体験する就労インターンプログラムを1週間にわたり実施していただきました。このプログラムに参加して、働く自信をついた若者が、新たにアルバイトを始めるきっかけとなりました。



支援物資提供

若者を応援する気持ちを、
自社の商品にこめて

オルビス株式会社

はじめてのひとり暮らしやアルバイトへの挑戦など、
新たな一歩を踏み出す若者が「自信を持って社会と向き合える
よう」との想いを込めて、スキンケアセットをご寄付いただきました。「こんなプレゼントもらったことない！」と喜ぶ若者たちの姿が印象的でした。



みんなで100kmマラソン

ただ一緒に走ることが、若者の力になる

企業で働く人と若者が、もっとカジュアルに関われる場を
つくりたいとの想いから、初のチャリティイベント「みんなで100km マラソン」を開催しました。チームになって一緒に走る中で、「ただ一緒に走ることが、若者の力になる」ということを感じていただく機会になりました。



2社の
企業協賛パートナーと、
30人のサポートーの
皆様にご参加
いただきました！



サンカクシャを支えてくださった企業・団体の皆様（一部紹介）

accompany Arc & Beyond

アコンパニー株式会社 一般社団法人 Arc & Beyond

新しい居場所を育む会 WILL Seed

一般社団法人 新しい居場所を育む会

Oisix ra daichi オイシックス・ラ・大地

株式会社 オイシックス・ラ・大地

オカモト株式会社

オカモト株式会社

ORBIS 近代産業株式会社

株式会社 近代産業株式会社

企業・行政・地域の人たちとのやさしい関わり合いが少しずつ広がり、
若者と社会をつなぐ力になっています。



行政 × 企業 × NPO の連携

豊島区とUR都市機構が若者支援の協定締結
空き家を活用して、新たな支援拠点の設立へ

2025年3月、豊島区とUR都市機構は、困難を抱える若者の自立支援を目的に、「豊島区における若者の居場所創出の促進に関する協定」を締結しました。サンカクシャは、協定に基づく空き家活用事業者として採択され、若者の居場所や就労支援の場として活用する新拠点の設立を進めています。



若者を応援したい
という気持ちを持って
関わってくださる方たちを
「オトナリサン」と
呼んでいます。



オトナリサン

若者たちと一緒にアートを楽しむ

中鶴 弘子さん

（アート・コーディネーター、Flatart/gift x gift共同代表）

サンカクシャの「アート部」として、作品鑑賞やワークショップなど、若者たちと一緒にアートを楽しんでいます。アートは対話しながら踊ることで、他者のさまざまな考え方につながる場になります。若者たちが楽ししながら、新しい自分に出会えるような場をたくさん作っていきたいと思います。

企業連携担当者のコメント



菜見（うねみ）達也

若者の仕事づくりは社会全体で取り組むべき課題

この一年で、若者を支えるサンカクシャを、企業や地域の皆様が支えてくださるという関わりが大きく広がりました。あたたかいご寄付をはじめ、就労や体験の機会など、さまざまな形で多くの若者の背中をそっと押していただいています。これからは「若者の仕事づくり」が大きなテーマで、これは社会全体で取り組むべき課題だと感じています。私たちは最前線で若者と向き合い続けますので、引き続き応援をお願いいたします。

kyndryl

KPMG

cybozu

SUNTORY

Soil × Policy Fund

Gentherian

太陽村振興監査法人

Daiwa House

太陽ハウスグループ

musashipoint

株式会社 ムサシポイント

MuTaka

株式会社 ムタカ

MORITA

モリタ株式会社

ポリシー会員

株式会社 ポリシー会員

LIVELIFE

株式会社 ライフル

LACOSTE

ラコステ

workday

ワークデイ

五十音清・秋物語

サンカクシャをサポートしてくださった個人の皆様

▶ 岩本 拓也 さん

弁護士（第二東京弁護士会）



クラウドファンディングをきっかけにマンスリーサポーターに
自分になかった発想に、ぜひ応援したいと思った

弁護士という仕事柄、生きづらさを感じている人に接する機会は多くありますが、支援の谷間に落ちている若者の存在とサンカクシャの活動を昨年のクラウドファンディングで初めて知りました。「こんな支援があるんだ」と自分の中になかった発想に、ぜひ応援したいと思いました。

▶ 早川 佳歩 さん

アーティスト



アートをきっかけに若者とつながる
若者たちを身近に感じるために、マンスリーサポーターに

サンカクシャの若者たち向けに版画のワークショップをやってくれないかと頼まれたのがきっかけで活動を知りました。その後も、若者たちのことを身近に感じてしようと、月額の寄付を始めました。サポートになってからは、サンカクキチの前を通るたびに、「みんなちゃんとご飯を食べているかな?」と思うようになりました。

▶ 山田 翔一朗 さん

会社員



若者は解決すべき「問題」じゃない
自分ごとだからこそわかる、型にはまらない支援の価値

自分自身も学校や家に居づらさを感じて育ちました。若者の存在を解決しなければいけない問題としてとらえるのではなく、今を共に生きる人として、楽しみながら向き合うサンカクシャの姿勢が広がっていて、若者たちだけではなく、老若男女がもっと息がしやすい世の中になるのではないかという想いで応援しています。

2024 年度 助成金受取実績

助成対象事業	助成元（敬称略）	助成対象事業	助成元（敬称略）
居場所事業	首都圏若者サポートネットワーク	社会サンカク事業	Tides Foundation
居場所事業	一般社団法人バインコ・バース社会貢献機構	社会サンカク事業	アドビ株式会社
居場所事業	株式会社 NTT データ経営研究所	社会サンカク事業	一般財団法人トマツ・クラウドファンディング財団
居場所事業	サントリーホールディングス株式会社	居住支援事業	一般財団法人日本民間公益活動振興機構 (資金分配団体: 公益社団法人ユニバーサル志摩センター)
居場所事業（オデッカ）	社会福祉法人中央共同金会	居住支援事業	独立行政法人宿泊医療機構
居場所事業（活動面）	公益財団法人東京コミュニティ財團	居住支援事業	公益財団法人日本フィンソロジック財團
居場所事業（活動面）	公益財団法人東邦財團	居住支援事業	一般財団法人日本民間公益活動振興機構 (資金分配団体: 公益社団法人ユニバーサル志摩センター)
社会サンカク事業	Appine Japan 合同会社	組織基盤強化	特定非営利活動法人山形社会創造ファンド

サンカクシャは、休眠預金等活用制度（長期間取引のない預金を、民間の公益活動に活用する制度）に基づく資金分配団体として採択されました。
若者の居住支援に取り組む団体への支援を、2025 年度より本格的にスタートします。

会計報告

2024 年度 活動計算書

科目	金額（単位: 円）	
	前期 (2023 年度)	今期 (2024 年度)
経常収益		
受取会費	45,000	45,000
受取寄附金	18,885,431	72,930,707 ①
受取助成金等	55,517,097	53,234,615 ②
事業収益	11,114,561	11,777,411
雑収益	1,440,418	2,316,447
経常収益計	87,002,507	140,304,180
経常費用		
事業費		
給料手当・法定福利費	19,805,505	34,386,397
業務委託費	25,533,397	34,602,648
会議費等	1,552,974	2,072,896 ④
旅費交通費・車両費	2,685,614	5,852,870 ⑤
通情運搬費	1,060,727	1,292,405
消耗品費	1,986,710	2,195,757
水道光熱費	2,471,043	3,220,393
地代家賃	2,310,000	2,310,000
保険料	221,514	436,955
支払手数料	3,525,034	6,834,290 ⑥
広告宣伝費	451,000	798,600
支払支援金		3,023,400 ⑦
若者家賃	11,326,764	10,401,770 ⑧
その他経費	1,566,340	1,639,078
事業費計	74,496,622	109,067,459
管理費		
給料手当・法定福利費	961,712	3,836,504
その他経費	7,958,232	8,728,093
管理費計	8,919,944	12,564,597
経常費用計	83,416,566	121,632,056
当期経常増減額	3,585,941	18,672,124
経常外収益	0	0
経常外費用	0	0
税引前当期正味財産増減額	3,585,941	18,672,124
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,000
当期正味財産増減額	3,515,941	18,602,124
前期総額正味財産額	18,742,420	22,258,361
次期総額正味財産額	22,258,361	40,860,485

※活動計算書の全項目ならびに貸借対照表、事業費内訳はサンカクシャのウェブサイトにて公開しております。あわせてご覧ください。

① 受取寄附金

クラウドファンディングに 716 人から 1400 万円弱のご寄付をいただきました。マンスリーサポーターも 204 人に大幅に増加し、大口のご寄付も寄せられ、多くの方に活動を支えていただきました。

② 受取助成金等

前期とほぼ同水準の助成金をいただいたものの、収入に占める割合は約 6 割から 4 割へと減少。団体設立以来続いている、助成金に大きく依存する不安定な財務体质から脱却することができました。

③ 給料手当等/業務委託費

正職員は 5 人から 10 人に倍増。業務委託のスタッフも増え、活動の幅を広げることができました。一方で、相談は今も増え続けており、スタッフを増員しても対応が追いつかない状況が続いている。

④ 会費費等

多くは若者の会費・食事提供に支出しました。「面談」となると身構えてしまう若者には、食事に説いて、何気ない会話から近況を聞くなど交流を続けています。200 人を超える若者を支援しました。

⑤ 旅費交通費・車両費

スタッフの経費だけでなく、バンジーやキャンプなど若者と外出するための交通費も含まれます。外出を増やした結果、移動時間など車内での若者の意外な本音を聞くことができる機会も増加しました。

⑥ 支払手数料

昨年実施した大規模なクラウドファンディングにおいて、プラットフォーム運営会社への手数料に加え、活動や関係先の増加に伴う銀行振込数の増加などにより、支払手数料が増加しました。

⑦ 支払支援金

新しい科目です。一定の条件を満たす若者に家賃補助を実施し、その効果を検証する実証事業を行いました。他団体と連携することで、その団体で居住支援を受ける若者にも家賃補助を実施できました。

⑧ 若者家賃

若者の居住支援施策の家賃として支出しました。収支性を考慮し、家賃を抑えつつ提供する部屋数を減らすことがないように、借り換えを行いました。

経常収益の 3 期推移



2024年度の主なメディア掲載・出演

6月

▶日本テレビ「news zero」
特集「Good For the Planet ウィーク」で、深夜の居場所「ヨルキチ」が紹介される

8月

▶日本経済新聞（朝刊）
「ひと@TOKYO」のコーナーで、代表理事・荒井のコメントと「ヨルキチ」が紹介される

▶テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
WBS クロスのコーナーで「若者の貧困」特集され、若者支援に取り組むサンカクシャの活動が紹介される

10月

▶Forbes JAPAN 12月号
特集「到来！「NPO 新時代」」で、「いわゆる NPO50」に選出される

12月

▶NHK ニュース「おはよう日本」
特集「年末年始 “家がしんどい”若者たち」で、年末年始の若者の居場所「コシキチ」が紹介される

2025年2月

▶朝日新聞（夕刊）
「いま聞く」のコーナーで「鍵を折れめ若者 どう支援」と題して、代表理事・荒井のインタビューが掲載される

＼2025年7月／ サンカクスクエア誕生！

若者の就労に特化した拠点「サンカクオフィス」の構想から1年。

2024年度のクラウドファンディングや皆様のご支援により、東池袋駅から徒歩5分の場所に「サンカクスクエア」が誕生しました。心より御礼申し上げます。

就労準備のための居場所に加えて、若者が働く居場所、飲食事業、炊き出しなど、様々なプロジェクトが動き出す複合拠点となりました。

今後は既存の枠ではキャッチしづらい若者の“働く”に向き合い、就労支援の手前である就労準備を目的とした事業を、若者や皆様とともに作ってまいります。



サンカクシャ

団体名 特定非営利活動法人 サンカクシャ
代表理事 荒井 佑介
住所 〒170-0012 東京都豊島区上池袋 4-35-12 3 階
TEL 03-6905-8287

編集：サンカクシャ、吉見 新 制作デザイン：ヒゲプロ

サンカクシャ SNS

HP <https://www.sankakusha.or.jp/>

X [@sankakusha_npo \(旧Twitter\)](https://twitter.com/sankakusha_npo)

f <https://www.facebook.com/npo.sankakusha/>

サンカク相談室

TikTok

@sankaku_soudan

Youtube

@sankakusoudanshitsu

ちょっと迷子な若者たち

Podcast
はじめました！



音声メディアでサンカクシャのラジオ番組をはじめました。

“迷子”って、一人ぼっちに見えても、誰かが声をかけてくれたり、道を一緒に探してくれる存在がいれば、少しづつ前に進めるはず。

迷いながらも歩いていく若者たちの姿や、
そのそばで伴走する大人たちの想いを、ラジオという形でお届けします。

＼おたより募集中／
毎週配信！